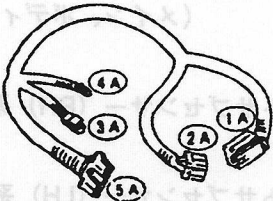
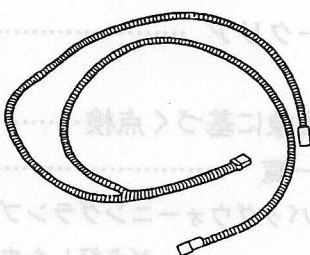
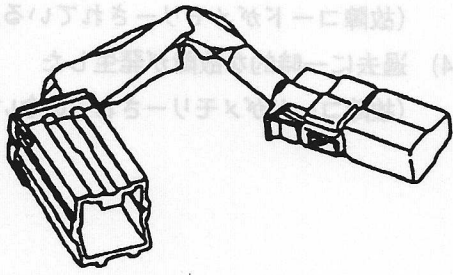
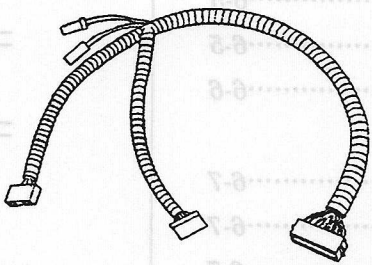
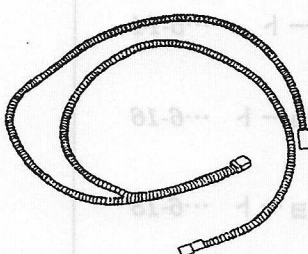
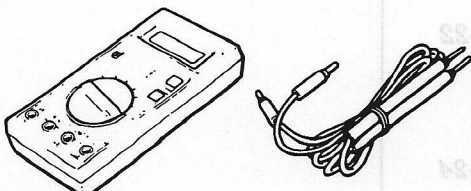


6 SRSエアバッグ

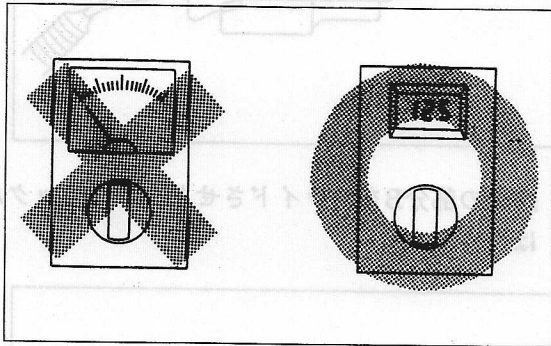
1. 準備品	6-2	コード25	エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)	4-28
2. エアバッグ整備上の注意	6-3	コード31	フロントサブセンサー (RH) 系統	6-30
3. システム概要	6-5	コード32	フロントサブセンサー (LH) 系統	6-34
[1] 入出力図	6-5	コード33	フフロントサブセンサー (CTR) 系統	6-38
[2] 部品配置図	6-6	5. メモリークリア	6-42	
4. 故障診断の方法	6-7	6. 不具合現象に基づく点検	6-43	
[1] 自己診断の方法	6-7	■ 不具合一覧	6-43	
■ 基本診断方法	6-7	(1) エアバッグウォーニングランプ が点灯したまま	6-44	
■ オンボード診断方法	6-8	(2) エアバッグウォーニングランプ が点灯しない	6-48	
[2] コードに基づく点検	6-9	(3) 過去に一時的な故障が発生した (故障コードがメモリーされている) ...	6-50	
■ コード一覧	6-9	(4) 過去に一時的な故障が発生した (故障コードがメモリーされていない) ...	6-52	
■ コード別故障診断	6-10			
コード11				
運転席エアバッグ回路断線・ アースショート・線間ショート	6-10			
コード12				
助手席エアバッグ回路断線・ アースショート・線間ショート	6-14			
コード15				
運転席エアバッグ回路電源ショート ...	6-16			
コード16				
助手席エアバッグ回路電源ショート ...	6-18			
コード21				
エアバッグコントロール ユニット故障	6-20			
コード22				
フロントエアバッグ作動	6-22			
コード23				
エアバッグコントロールユニット のコネクターの接続不良 ...	6-24			
コード24				
エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)	6-26			

1. 準備品

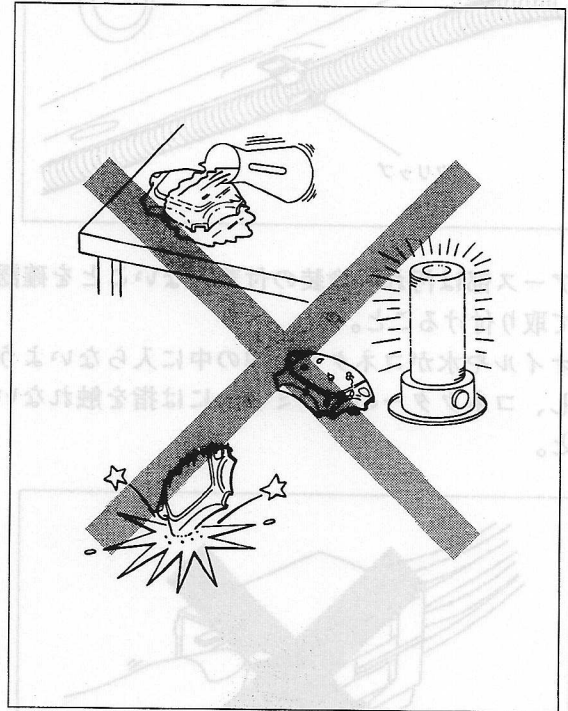
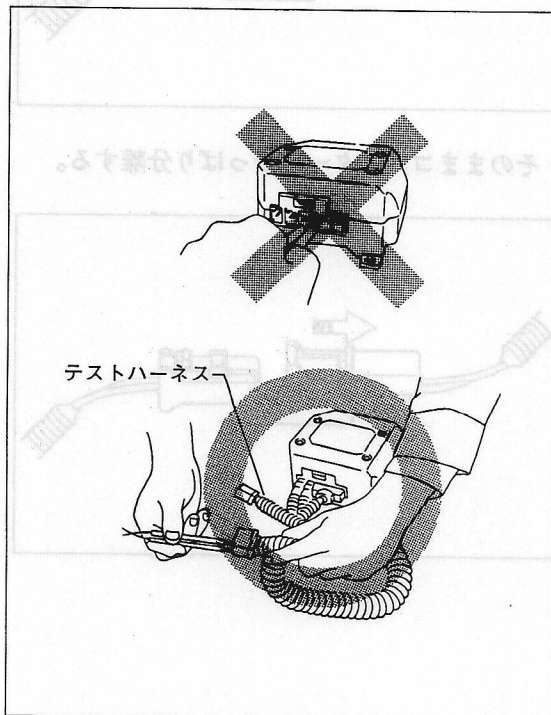
ST	テストハーネスA 98299PA000  テストハーネスF 98299FC010  エアバッグレジスタ 98299PA040  テストハーネスE2 98299FC001 (テストハーネスE) 98299FC000は使 用できません  テストハーネスH 98299FA030 	各部測定用 注意 各部測定には必ず指定されたこれらのハーネスを使用し、デジタルテスターで測定すること。
計器	デジタルテスタ 	各部測定用 注意 アナログテスターは使用してはならない。

2. エアバッグ整備上の注意

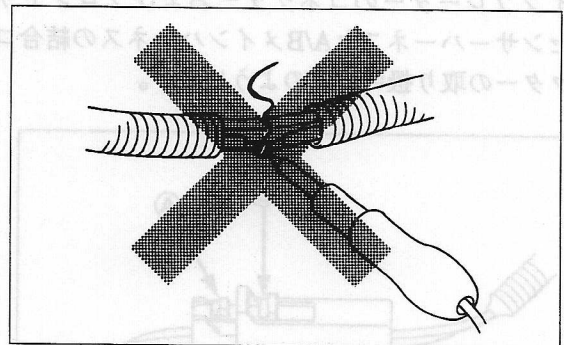
- (1) SRSエアバッグシステムの作業は、IG SW OFF後バッテリーの⊖端子をはずし、20秒以上たってから行う。
- (2) システムを点検する時は、デジタルサーキットテスターを使用すること。アナログサーキットテスターを使用すると、エアバッグが誤作動するおそれがある。
- (4) エアバッグモジュールを落としたり、100℃を超える高温にさらしたり、オイル、グリース、水等が付着すると、内部が損傷することがあり、システムの信頼性が低下するので、取り扱いには十分注意する。



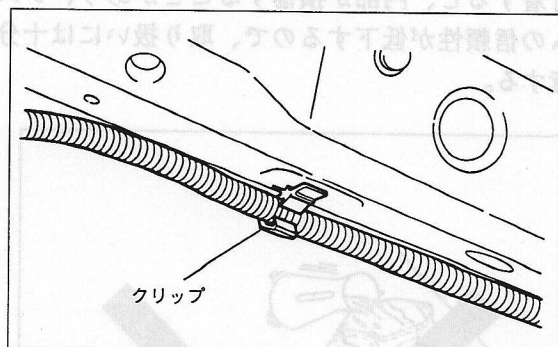
- (3) エアバッグシステムのコネクタに直接テスター棒を差し込まぬこと。点検する時はテスト用ハーネスを用いる。



- (5) エアバッグシステムのワイヤーハーネスに損傷、断線等が生じた場合、ハンダ付け等の修理を行わず必ず新品と交換する。

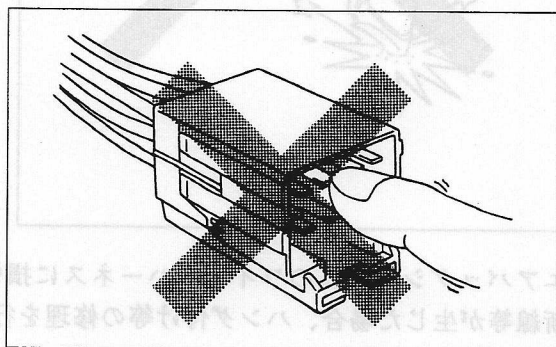


- (6) ワイヤーハーネスが噛み込んだり、他の部品と干渉したりしないように取り付けること。

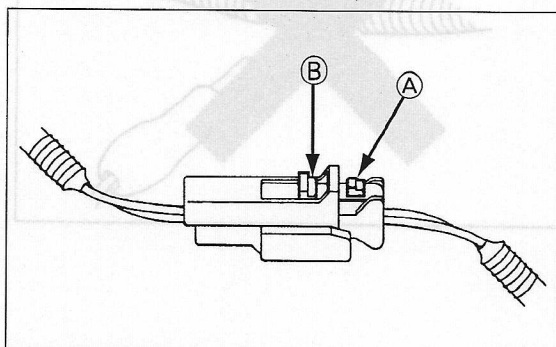


- (7) アース部は汚れ、塗装の付着がないことを確認して取り付けること。

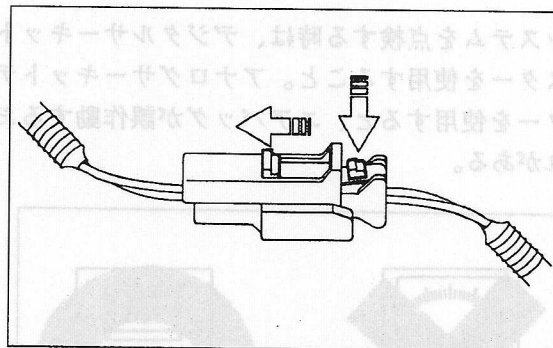
オイルや水がコネクタ内の中に入らないようにし、コネクタのターミナルには指を触れないこと。



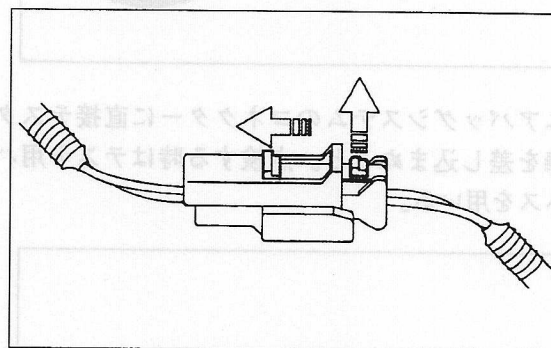
- (8) インフレーターのコネクタおよびフロントサブセンサーハーネスとA/Bメインハーネスの結合コネクタの取り扱いには次のように行う。



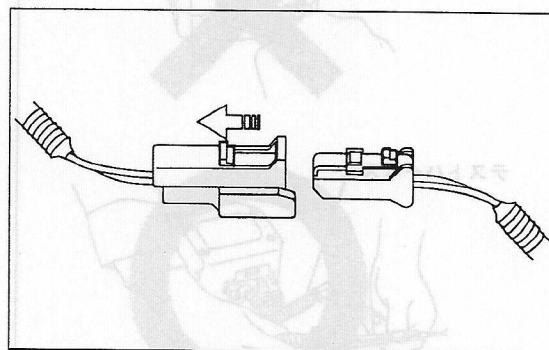
- ① メインコネクタ（図右側）のロックAを押しなが
らオスコネクタの緑色の部分Bをスライドさ
せる。



- ② 緑色の部分Bをスライドさせたまま、ロックAを
はなす。



- ③ そのままコネクタをひっぱり分離する。



3. システム概要

〔1〕 入出力図

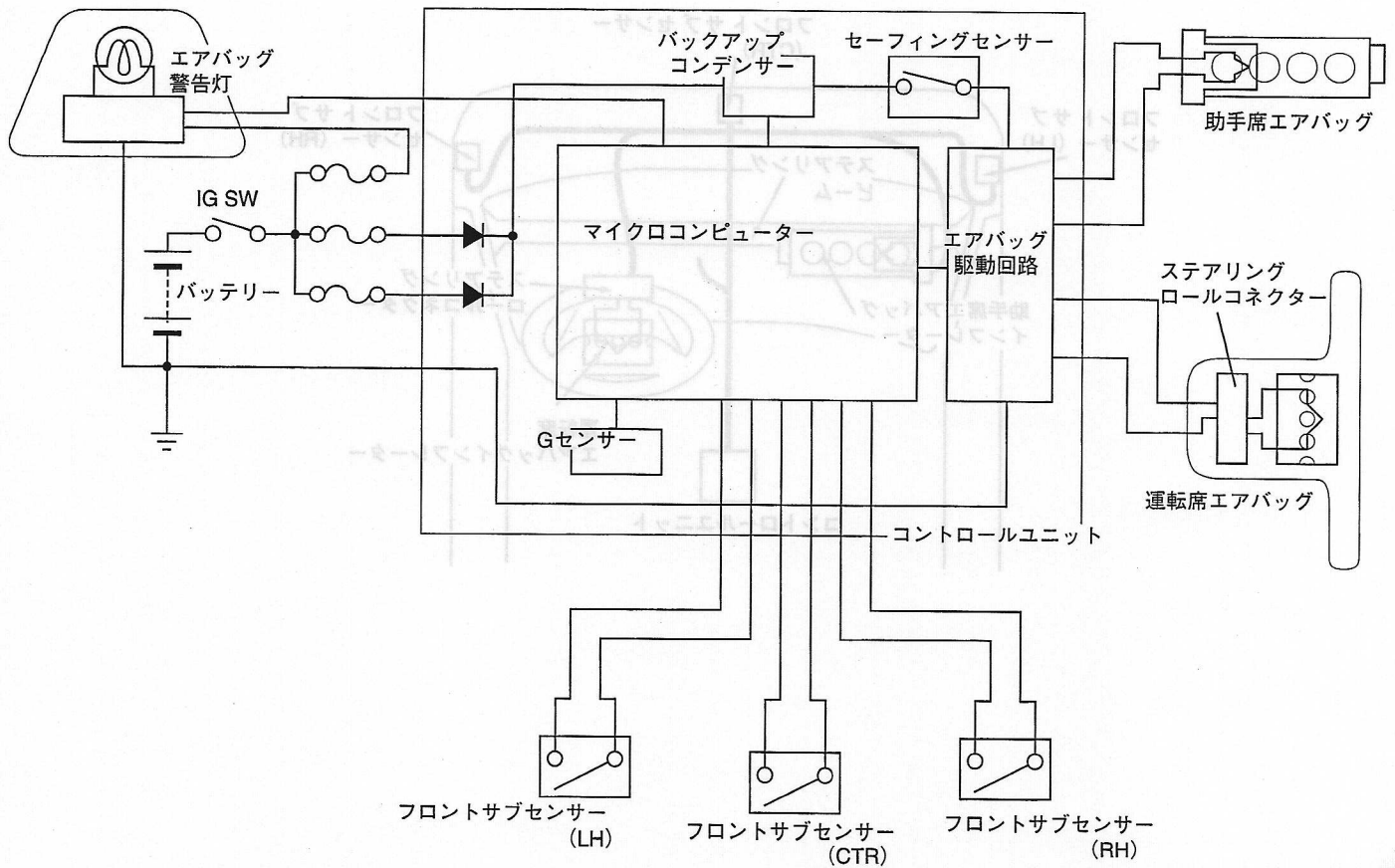


Diagram illustrating the front air bag system components and their connections:

- フロントサブ センサー (CTR)
- フロントサブ センサー (LH)
- ステアリング ビーム
- 助手席エアバッグ インフレーター
- ステアリング ロールコネクター
- 運転席エアバッグインフレーター
- コントロールユニット
- フロントサブ センサー (RH)

4. 故障診断の実施

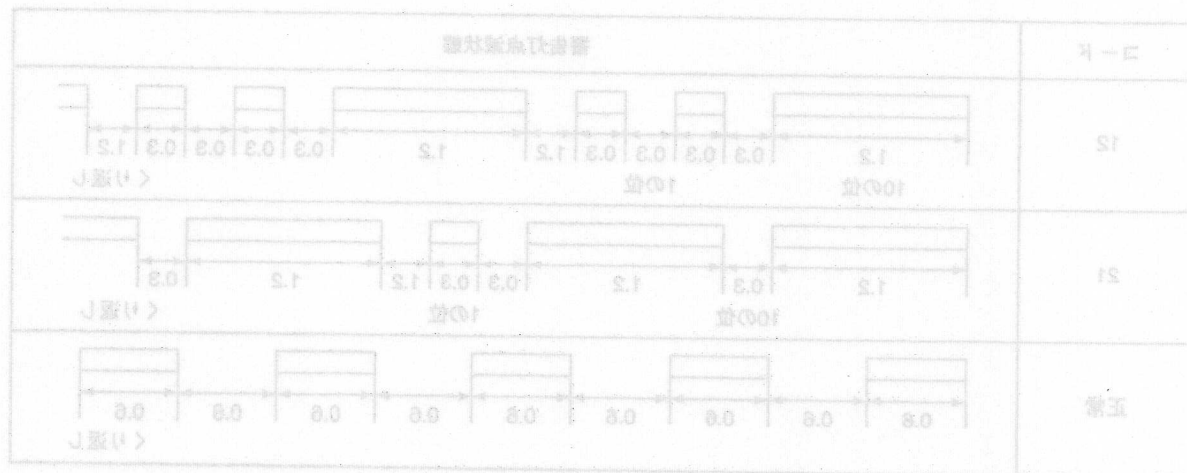
[1] 自己診断の方法

■ 基本診断方法

正常時は、IG SW ON後、約6秒間エアバッグウォーニングランプが点灯した後消灯する。これをイニシャルチェックといい、ランプ切れの点検ができる。

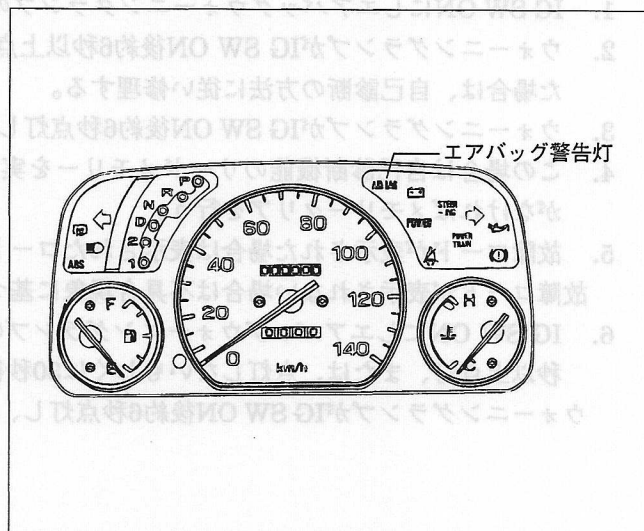
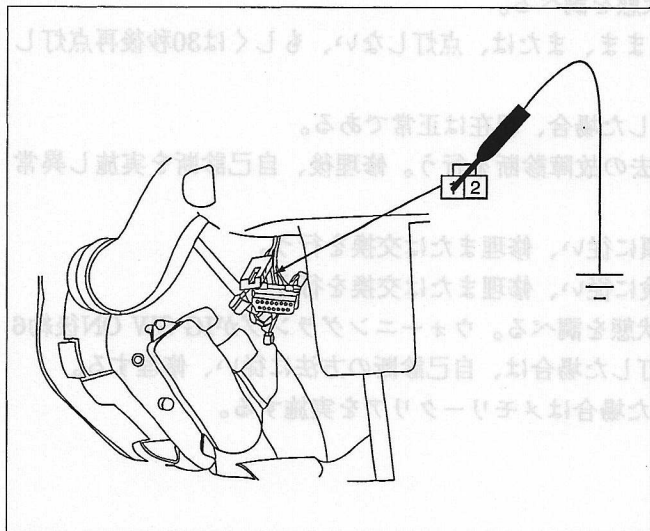
エアバッグウォーニングランプが点灯した際には

1. IG SW ONにしエアバッグウォーニングランプの点灯状態を調べる。
2. ウォーニングランプがIG SW ON後約6秒以上点灯したまま、または、点灯しない、もしくは30秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い修理する。
3. ウォーニングランプがIG SW ON後約6秒点灯し、消灯した場合、現在は正常である。
4. この場合は自己診断機能のリードメモリーを実施し過去の故障診断を行う。修理後、自己診断を実施し異常がなければメモリークリアを行う。
5. 故障コードが表示された場合は表示されたコードの手順に従い、修理または交換を行う。
故障コードが表示されない場合は不具合現象に基づく点検に従い、修理または交換を行う。
6. IG SW ONにしエアバッグウォーニングランプの点灯状態を調べる。ウォーニングランプがIG SW ON後約6秒以上点灯、または、点灯しないもしくは30秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い、修理する。
ウォーニングランプがIG SW ON後約6秒点灯し、消灯した場合はメモリークリアを実施する。



■ オンボード診断方法

1. IG SW ON (エンジン停止)
2. 運転席口アーカバー部のダイアグコネクターF15の 1 番端子とアース端子を接続する。
3. エアバッグウォーニングランプの点滅によりコードを読み取る。
4. IG SW OFFし、アース端子をはずす。



コード	警告灯点滅状態
12	1.2 0.3 0.3 0.3 0.3 1.2 1.2 0.3 0.3 0.3 0.3 1.2 10の位 1の位 くり返し
21	1.2 0.3 1.2 0.3 0.3 1.2 1.2 0.3 10の位 1の位 くり返し
正常	0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 くり返し

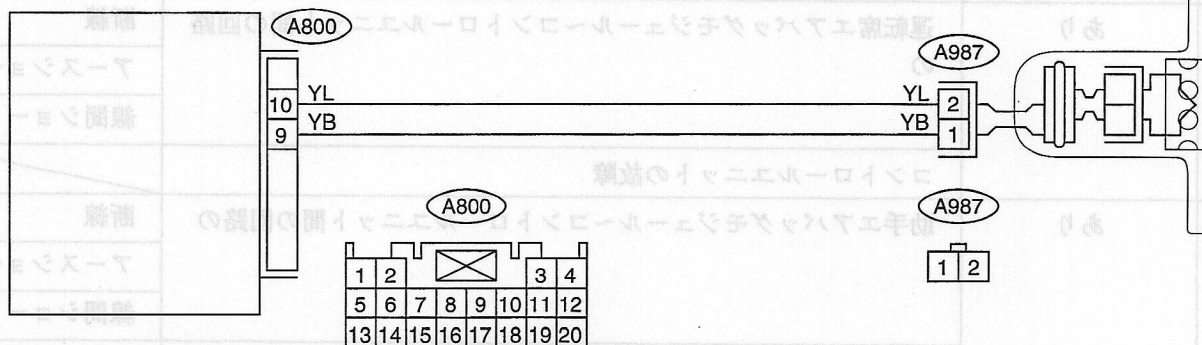
〔2〕コードに基づく点検

■ コード一覧

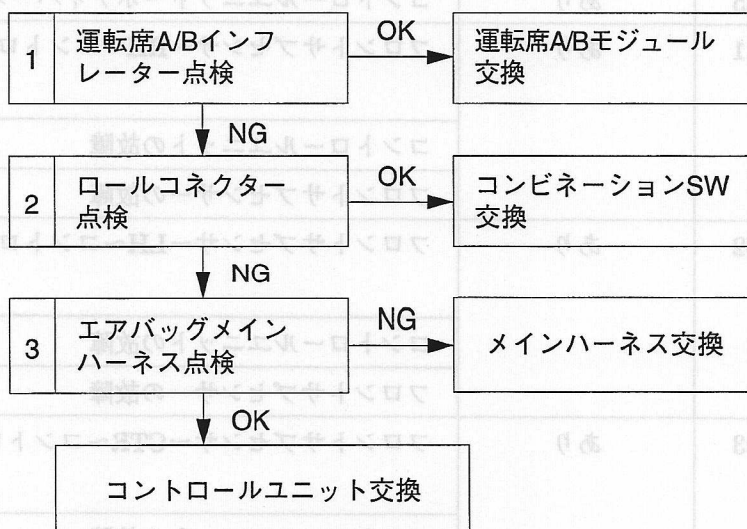
コード	メモリーの有無	診断内容	
11	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
12	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
15	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
16	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
21	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
22	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
23	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
24	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
25	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
31	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
32	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	
33	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
		線間ショート	

■ コード別故障診断

コード11 運転席エアバッグ回路、断線・アースショート・線間ショート



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. 運転席エアバッグインフレーター点検	注意 作業前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルをはずして20秒以上経過後に作業すること。 1. 運転席エアバッグモジュールをはずす。 2. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。 3. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。 4. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。		
	<table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
2. ロールコネクタ点検	注意 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後作業すること。 1. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。 2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。 3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。		
	<table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
3. エアバッグメインハーネス点検	注意 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後作業すること。 1. エアバッグコネクタA800をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eと接続する。 2. 次の間の導通点検 テストハーネスE2のコネクタ2E端子①～テストハーネスFのコネクタ3F端子③ テストハーネスE2のコネクタ2E端子④～テストハーネスFのコネクタ3F端子④		
	<table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>導通あり（10Ω以下）</td></tr> </table>	基準値	導通あり（10Ω以下）
基準値	導通あり（10Ω以下）		
	3. 次の端子間の絶縁を点検 テストハーネスE2の2Eコネクタ端子①～端子④		
	<table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>導通なし（1MΩ以上）</td></tr> </table>	基準値	導通なし（1MΩ以上）
基準値	導通なし（1MΩ以上）		

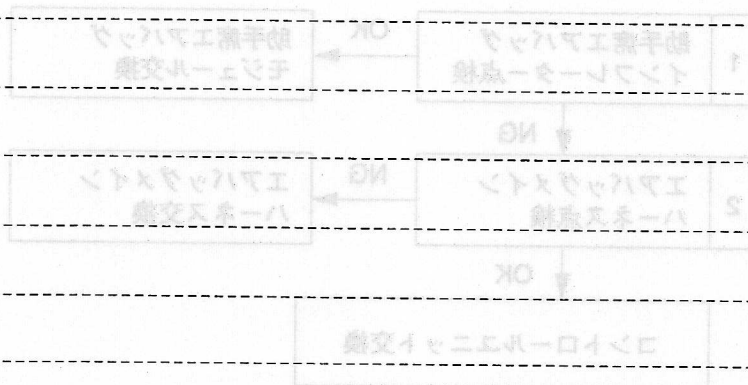
<次ページへ続く>

<前ページの続き> 3. エアバッグメイン ハーネス点検	4. 一次の間の絶縁を点検 テストハーネスE2のコネクター2E端子④～ボディアース テストハーネスE2のコネクター2E端子①～ボディアース <table border="1" data-bbox="479 384 1214 443"> <tr> <td>基準値</td><td>導通なし (1MΩ以上)</td></tr> </table>	基準値	導通なし (1MΩ以上)
基準値	導通なし (1MΩ以上)		

エアバッグメインハーネスの絶縁抵抗を測定する。 測定方法：テストハーネスE2のコネクター2E端子④～ボディアース、①～ボディアースの間の絶縁抵抗を測定する。	測定結果
--	-------------

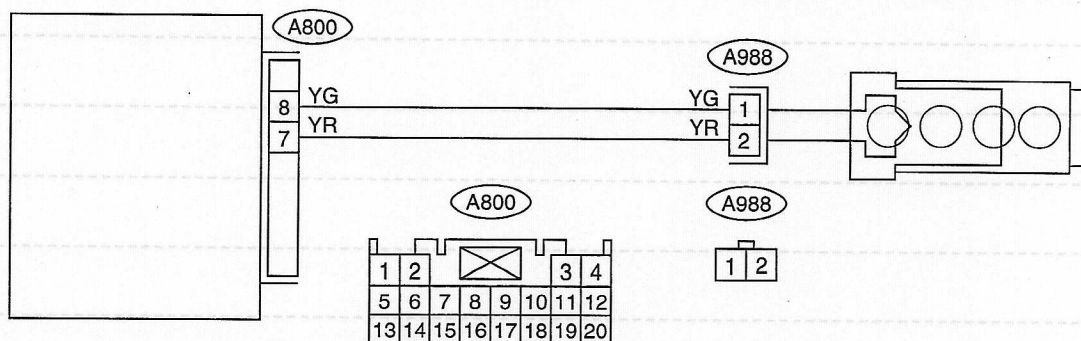
エアバッグメインハーネスの絶縁抵抗を測定する。 測定方法：テストハーネスE2のコネクター2E端子④～ボディアース、①～ボディアースの間の絶縁抵抗を測定する。	測定結果
--	-------------

エアバッグメインハーネスの絶縁抵抗を測定する。 測定方法：テストハーネスE2のコネクター2E端子④～ボディアース、①～ボディアースの間の絶縁抵抗を測定する。	測定結果
--	-------------

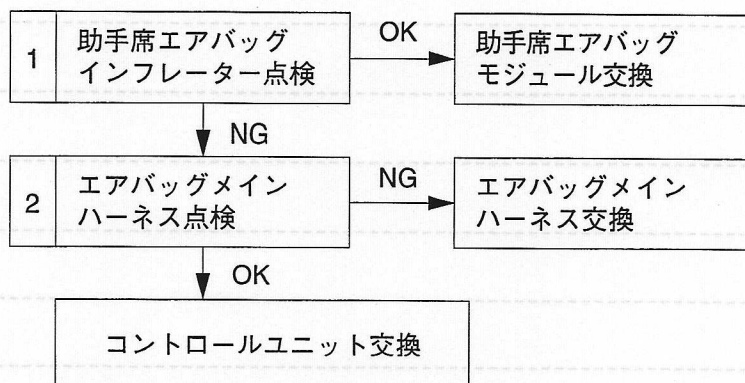


コード12 助手席エアバッグ回路、断線・アースショート・線間ショート

MEMO



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. 助手席エアバッグインフレーター点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. A988コネクタを分離し、A988コネクタにテストハーネスFを接続する。
2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。
3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。

基準値

エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）

2. エアバッグメインハーネス点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上放置すること。

1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。

2. 次の端子間の導通を点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～テストハーネスFの3Fコネクタ端子③

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子⑤～テストハーネスFの3Fコネクタ端子④

基準値

導通あり（10Ω以下）

3. 次の端子間の絶縁点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～端子⑥

基準値

導通なし（1MΩ以上）

4. 次の間の絶縁点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～ボディアース間

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子⑤～ボディアース間

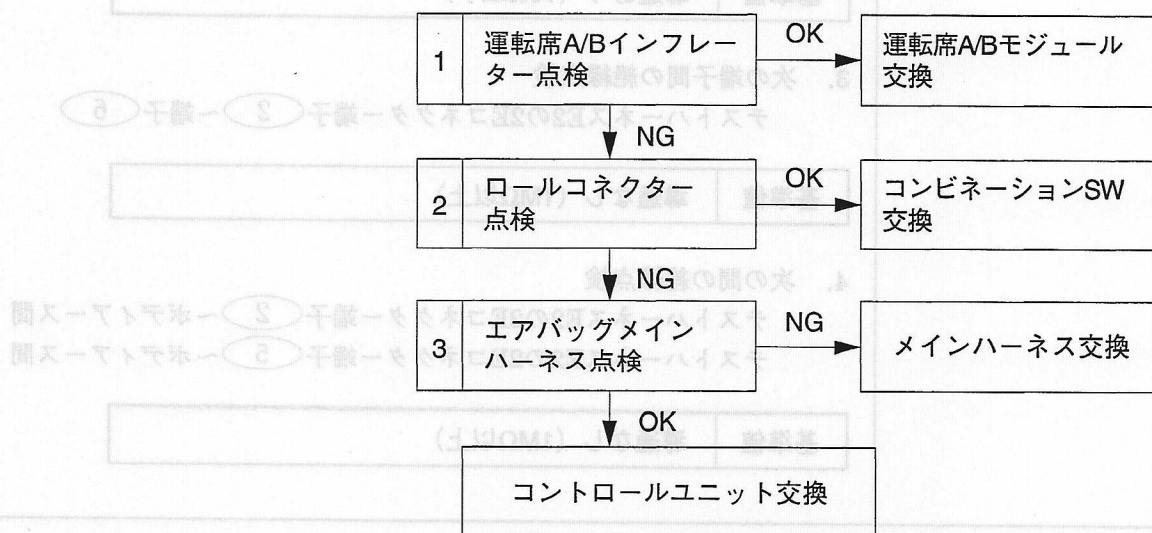
基準値

導通なし（1MΩ以上）

コード15 運転席エアバッグ回路電源ショート



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. 運転席エアバッグインフレーター点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. 運転席エアバッグモジュールを外す。
2. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。
3. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。
4. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。

基準値

エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）

2. ロールコネクタ点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。
2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。
3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。

基準値

エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）

3. エアバッグメインハーネス点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。
2. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。

3. 次の間の電圧測定

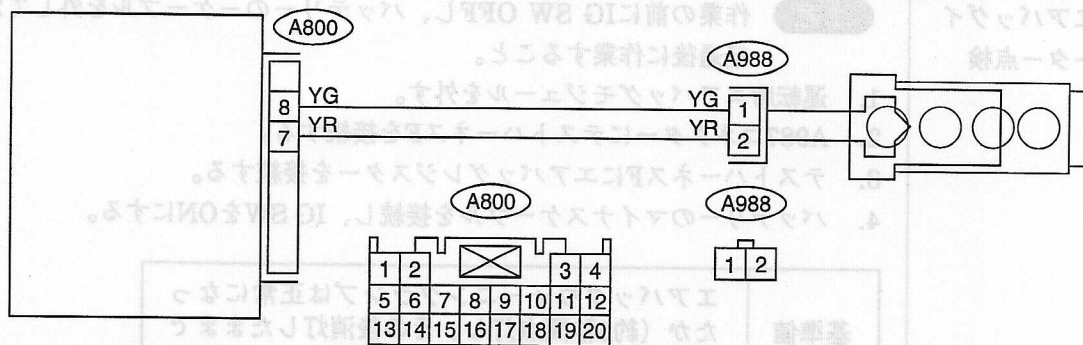
テストハーネスE2の2Eコネクタ端子④～ボディアース間

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子①～ボディアース間

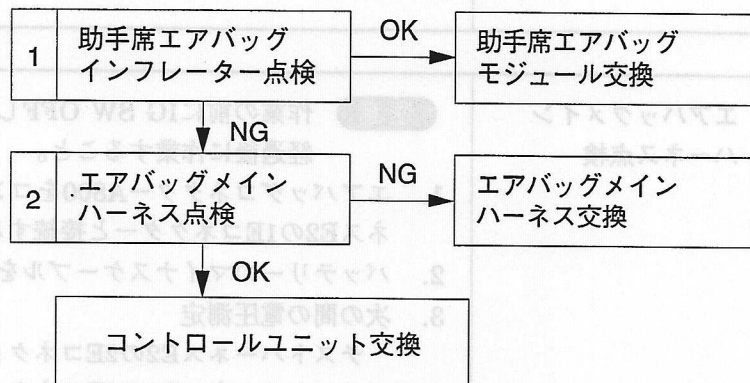
基準値

1V以下

コード16 助手席エアバッグ回路電源ショート



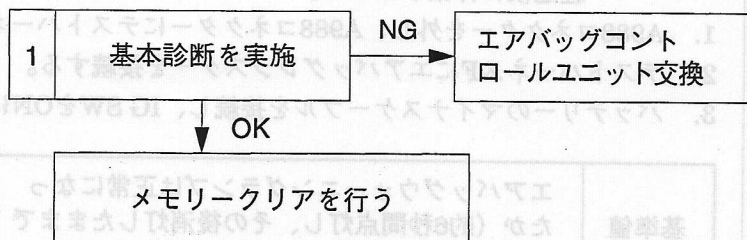
• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. 助手席エアバッグインフレーター点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. A988コネクタを外し、A988コネクタにテストハーネスFを接続する。 2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。 3. バッテリーのマイナスケールを接続し、IG SWをONにする。 <table border="1" data-bbox="496 457 1232 583"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
2. エアバッグメインハーネス点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。 2. バッテリーのマイナスケールを接続し、IG SWをONにする。 3. 次の間の電圧測定 - テストハーネスE2の2Eコネクタ端子 ② ～ボディアース間 - テストハーネスE2の2Eコネクタ端子 ⑥ ～ボディアース間 <table border="1" data-bbox="496 1060 1232 1119"> <tr> <td>基準値</td><td>1V以下</td></tr> </table>	基準値	1V以下
基準値	1V以下		

コード21 エアバッグコントロールユニット故障

• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。

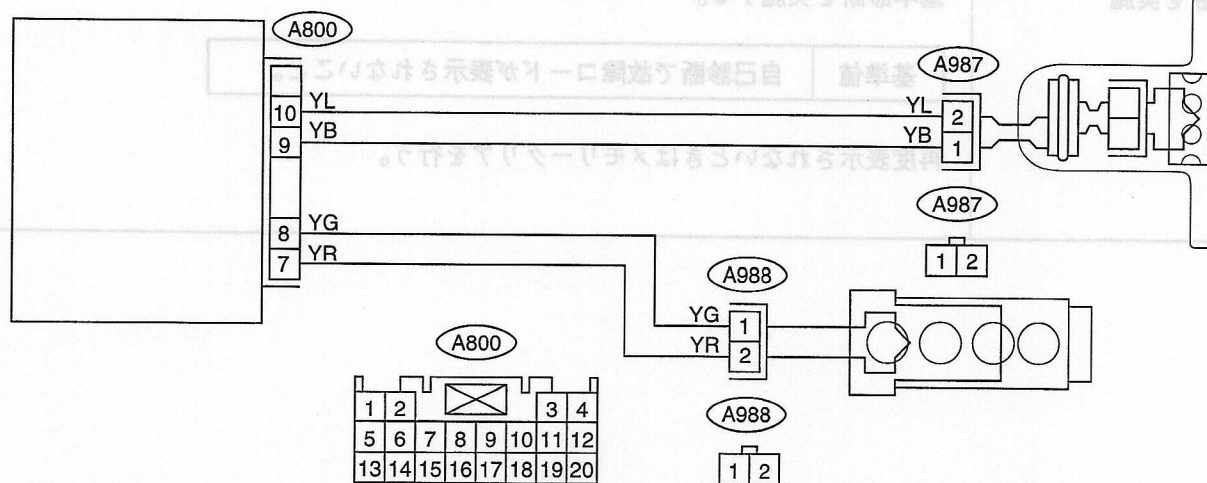


基本診断を実施する。

自己診断で故障コードが表示されないこと。

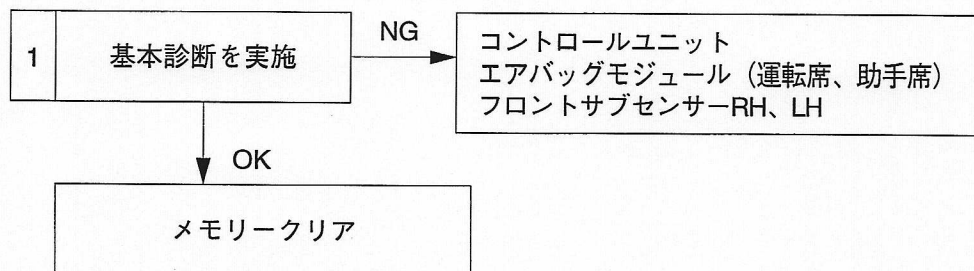
再度表示されないときはメモリークリアを行う。

コード22 フロントエアバッグ作動

**注意**

作動した場合は、ECU、フロントサブセンサーを交換する。

- フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



良不燃燃の一々でホロのイヤニエハローロイベロでハハエ 8Sノール

基本診断を実施

基本診断を実施する。

基準値

自己診断で故障コードが表示されないこと。

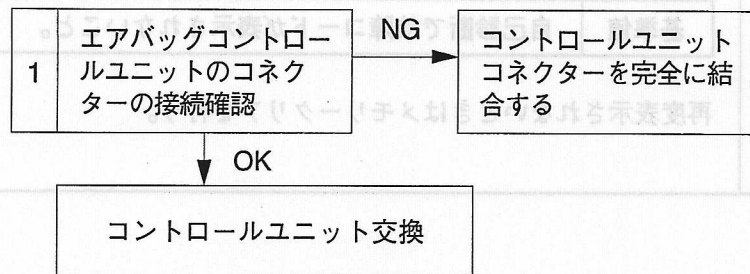
再度表示されないときはメモリークリアを行う。

OK

乗交イヤニエハローロイベロ

コード23 エアバッグコントロールユニットのコネクターの接続不良

• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



(トヨタ、ベトナム) 診断スコーパーでエアバッグ AS1-1C

1. コントロールユニットのコンネクターの接続確認

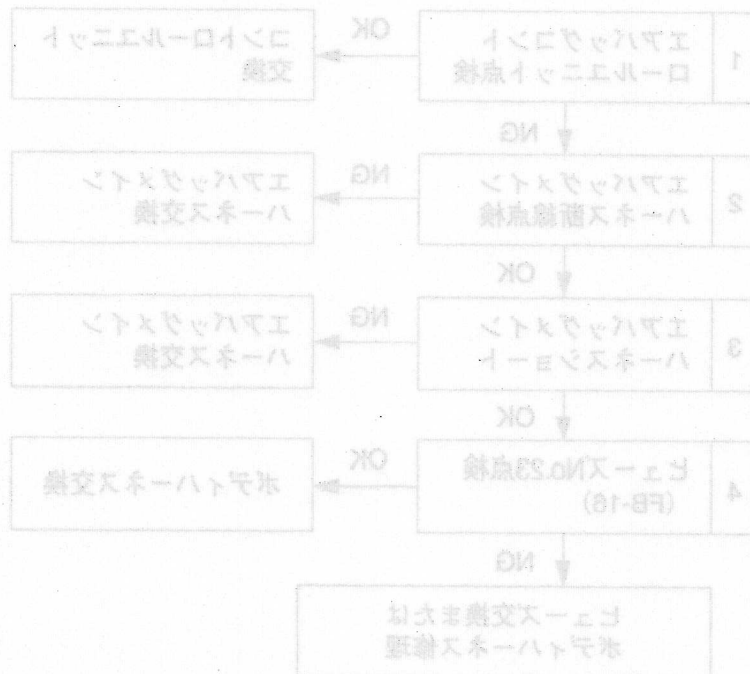
注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上放置すること。

エアバッグコンネクターA800とエアバッグコントロールユニット間のコンネクターの接続を確認する。

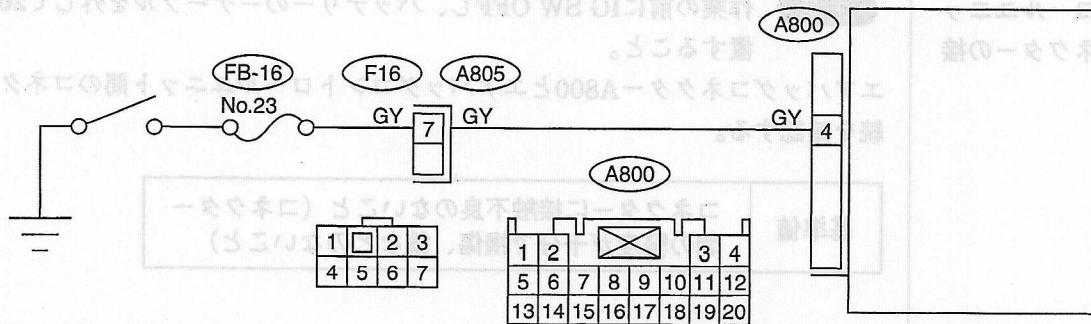
基準値

コンネクターに接触不良のないこと（コンネクター間の緊度が十分で損傷、錆などのないこと）

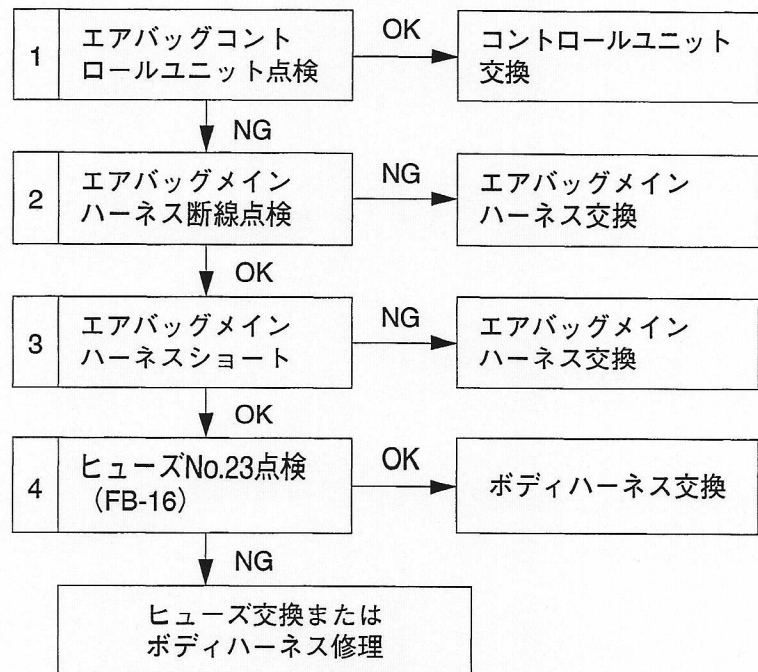
。必ず対応するページの項目を参照してください。



コード24 エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



(トモホ、ベトク) 難問スネーバビヤハマエ 5S1ーロ

1. エアバッグコントロールユニット点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業する。

1. エアバッグコネクタA800をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。
2. バッテリーのマイナスクーブルを接続し、IG SWをONにする。
3. 次の間の電圧測定
テストハーネスE2の2Eコネクタ端子(3)～ボディアース間

基準値	10V以上
-----	-------

2. エアバッグメインハーネス断線点検

注意 コントロールユニットの点検状態のまま、IG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. エアバッグコネクタA805とボディハーネスコネクタF16を外し、エアバッグコネクタA805にテストハーネスAのコネクタ2Aを接続する。
2. 次の間の導通を点検
3. テストハーネスAの5A端子(9)～テストハーネスE2の2Eコネクタ端子(8)

基準値	導通あり (10Ω以下)
-----	--------------

3. エアバッグメインハーネスショート点検

上の状態のまま、次の間の絶縁点検

- テストハーネスAの5A端子(9)～ボディアース
テストハーネスE2の2B端子(3)～ボディアース

基準値	導通なし (1MΩ以上)
-----	--------------

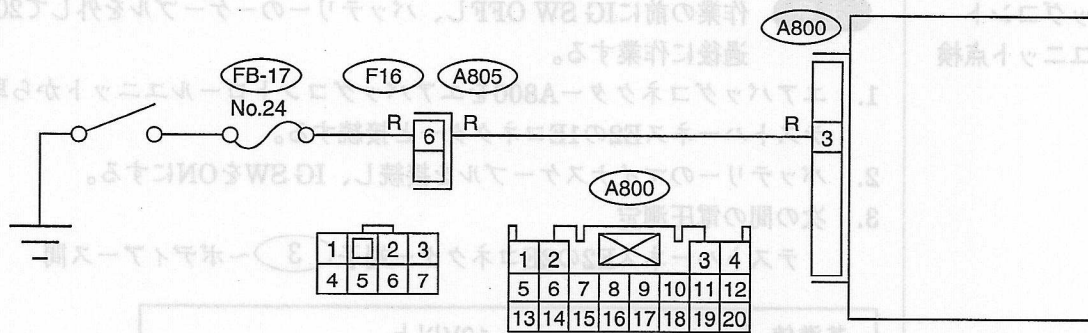
4. FB16ヒューズ点検

IG SW OFFし、ヒューズボックスのNo.23ヒューズ切れを確認する。

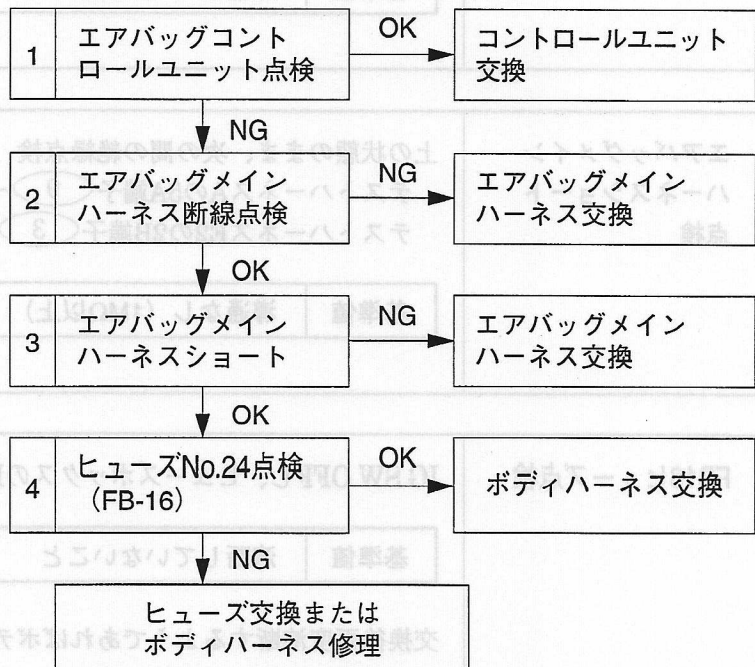
基準値	溶断していないこと
-----	-----------

交換後再度溶断するようであればボディハーネスが不良である。

コード25 エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)

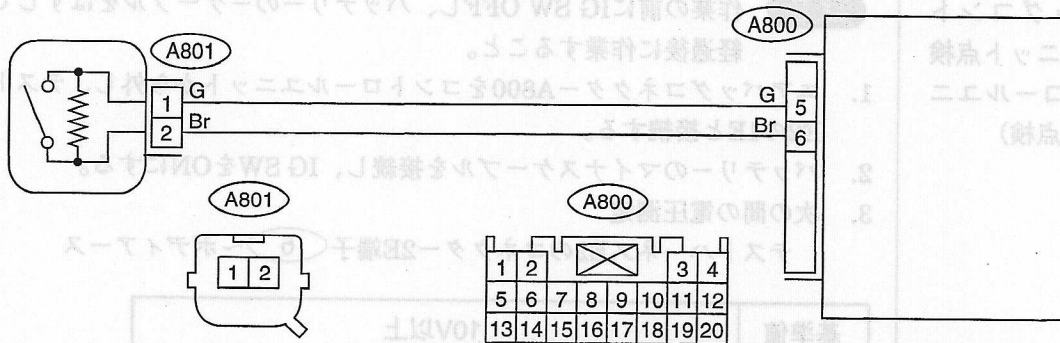


• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。

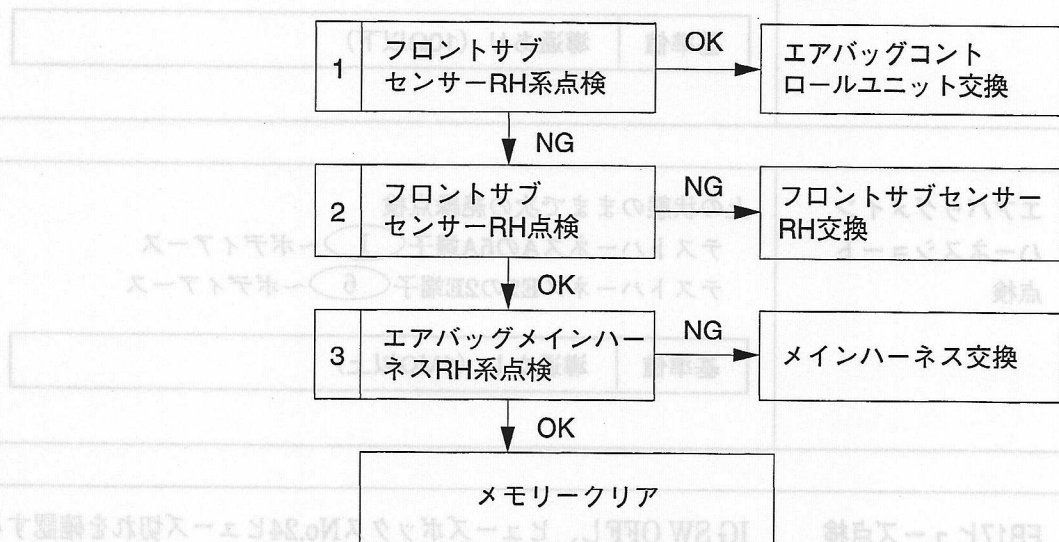


1. エアバッグコントロールユニット点検 (コントロールユニット電圧点検)	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルをはずして20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2の1Eと接続する。 - バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。 - 次の間の電圧測定 テストハーネスE2のコネクタ2E端子(6)～ボディアース <table border="1" data-bbox="500 541 1235 600"> <tr> <td>基準値</td><td>10V以上</td></tr> </table>	基準値	10V以上
基準値	10V以上		
2. エアバッグメインハーネス断線点検	注意 コントロールユニットの点検状態のまま、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後作業を開始すること。 - エアバッグコネクタA805とボディハーネスF16を分離し、エアバッグコネクタA805にテストハーネスAのコネクタ2Aを接続する。 - 次の間の導通点検 テストハーネスAの5Aコネクタ端子(1)～テストハーネスE2のコネクタ端子(6) <table border="1" data-bbox="500 1024 1235 1083"> <tr> <td>基準値</td><td>導通あり (10Ω以下)</td></tr> </table>	基準値	導通あり (10Ω以下)
基準値	導通あり (10Ω以下)		
3. エアバッグメインハーネスショート点検	上の状態のままで次の絶縁点検 テストハーネスAの5A端子(1)～ボディアース テストハーネスE2の2E端子(6)～ボディアース <table border="1" data-bbox="500 1346 1235 1404"> <tr> <td>基準値</td><td>導通なし (1MΩ以上)</td></tr> </table>	基準値	導通なし (1MΩ以上)
基準値	導通なし (1MΩ以上)		
4. FB17ヒューズ点検	IG SW OFFし、ヒューズボックスNo.24ヒューズ切れを確認する。 <table border="1" data-bbox="500 1591 1235 1650"> <tr> <td>基準値</td><td>溶断していないこと</td></tr> </table> 交換後、再度溶断するようであればボディハーネスが不良である。	基準値	溶断していないこと
基準値	溶断していないこと		

コード31 フロントサブセンサー (RH) 系統



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. フロントサブセンサーRH系点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ1Eと接続する。 ・フロントサブセンサーRHとハーネス点検 - フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～(4) <table border="1" data-bbox="500 533 1235 590"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネスE2の3Fコネクタ端子(2)～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="500 772 1235 829"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
2. フロントサブセンサーRH点検	- テストハーネスHの2HコネクタをフロントサブセンサーRHに接続する。 - フロントサブセンサーRHの抵抗測定 テストハーネスHの3Hコネクタ端子(3)～(4) <table border="1" data-bbox="500 1094 1235 1150"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - フロントサブセンサーRHとボディとの絶縁点検 テストハーネスHの3Hコネクタ端子(3)～ボディアース テストハーネスHの3Hコネクタ端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="500 1335 1235 1392"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
3. エアバッグメインハーネス(RH系)点検 <次ページへ続く>	- A801～コネクタとA801ボディコネクタにテストハーネスFのコネクタ2Fを接続する。 - メインハーネスの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～テストハーネスFの3Fコネクタ端子(6) テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(4)～テストハーネスFの3Fコネクタ端子(5) <table border="1" data-bbox="500 1820 1235 1877"> <tr> <td>基準値</td><td>10Ω以下</td></tr> </table>	基準値	10Ω以下		
基準値	10Ω以下				

<前ページの続き> 3. エアバッグメイン ハーネス (RH系) 点検	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子④～ボディアース <table border="1" data-bbox="470 367 1209 430"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10kΩ以上
基準値	10kΩ以上		

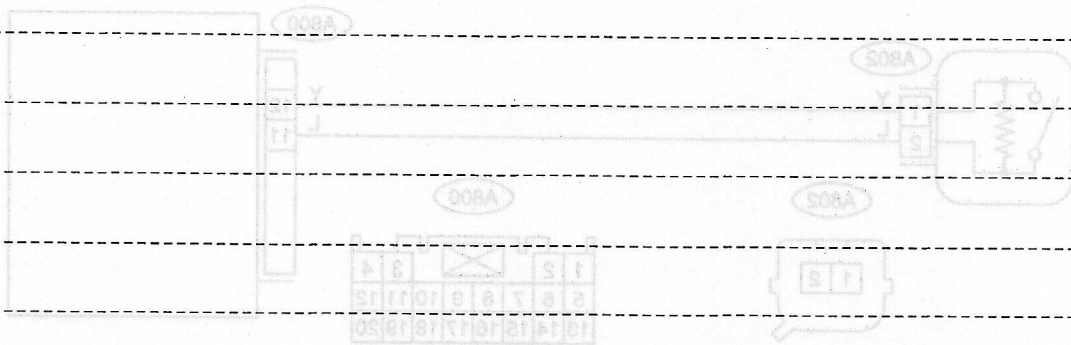
1. 750Ω～1kΩ 2. 10kΩ以上	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子④～ボディアース
-------------------------------------	---

1. 750Ω～1kΩ 2. 10kΩ以上	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子④～ボディアース
-------------------------------------	---

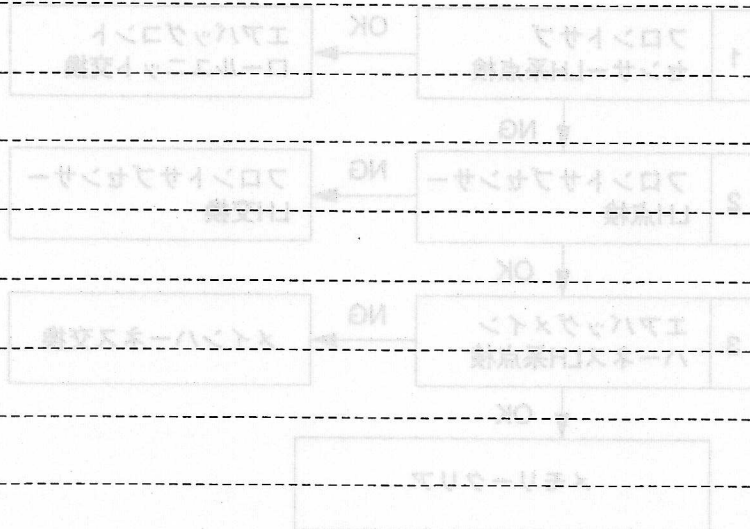
1. 750Ω～1kΩ 2. 10kΩ以上	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子④～ボディアース
-------------------------------------	---

MEMO

系統 (HJ) - センサでサイクロで 584-1

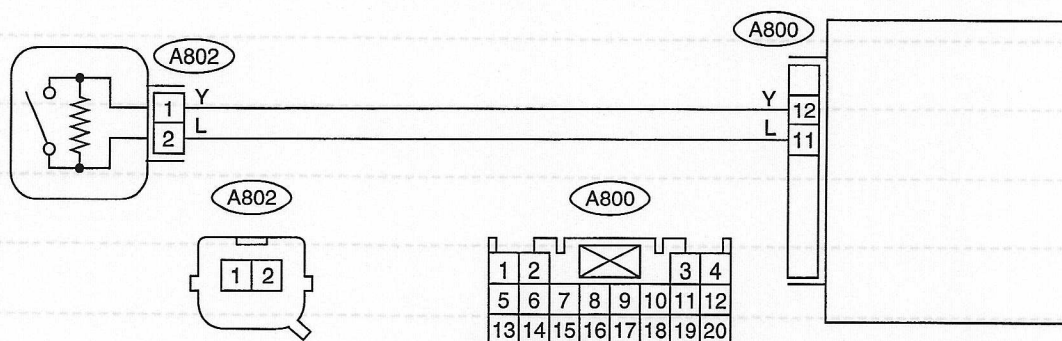


。584-1の図表のページを参照してください。

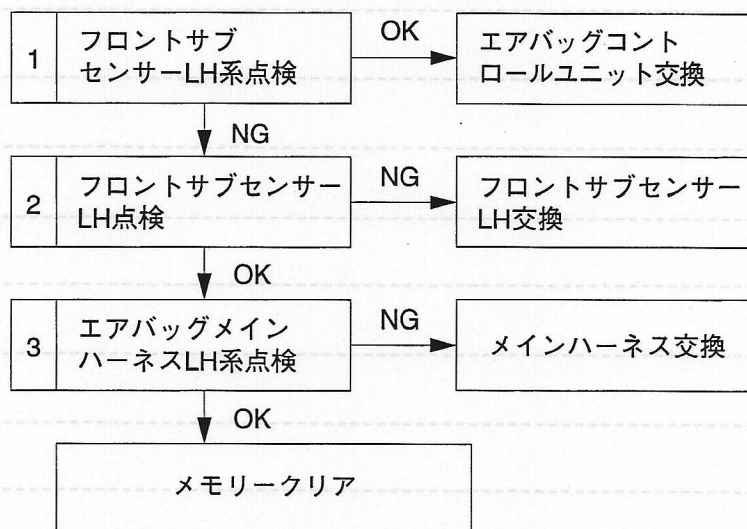


コード32 フロントサブセンサー (LH) 系統

OMEM



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. フロントサブセンサーLH系点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ1Eと接続する。

• フロントサブセンサーLHとハーネス点検

2. フロントサブセンサーの抵抗測定

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ ③

基準値	750Ω~1kΩ
-----	----------

3. ハーネスとボディとの絶縁点検

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ ボディアース

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ③ ~ ボディアース

基準値	10kΩ以上
-----	--------

2. フロントサブセンサーLH点検

1. テストハーネスHの2HコネクタをフロントサブセンサーLHに接続する。

2. フロントサブセンサーLHの抵抗測定

テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ④

基準値	750Ω~1kΩ
-----	----------

3. フロントサブセンサーLHとボディとの絶縁点検

テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ボディアース

テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ④ ~ ボディアース

基準値	10kΩ以上
-----	--------

3. エアバッグメインハーネス (LH系) 点検

1. A802コネクタとA802ボディコネクタにテストハーネスFのコネクタ2Fを接続する。

2. メインハーネスの抵抗測定

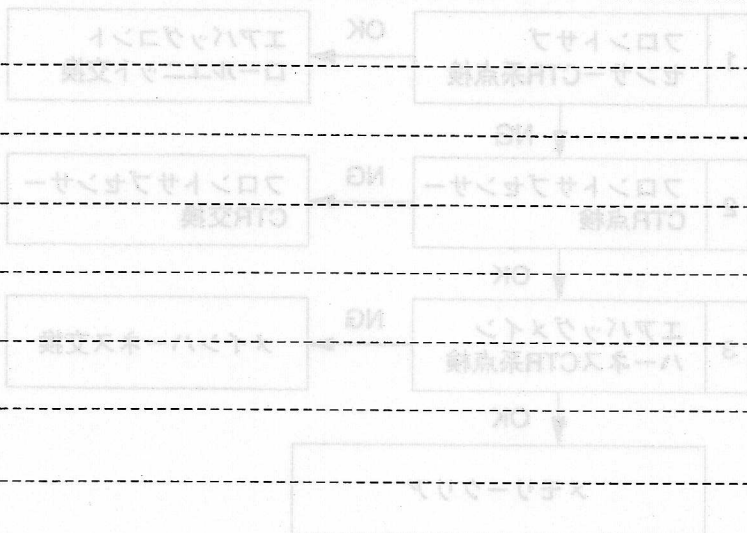
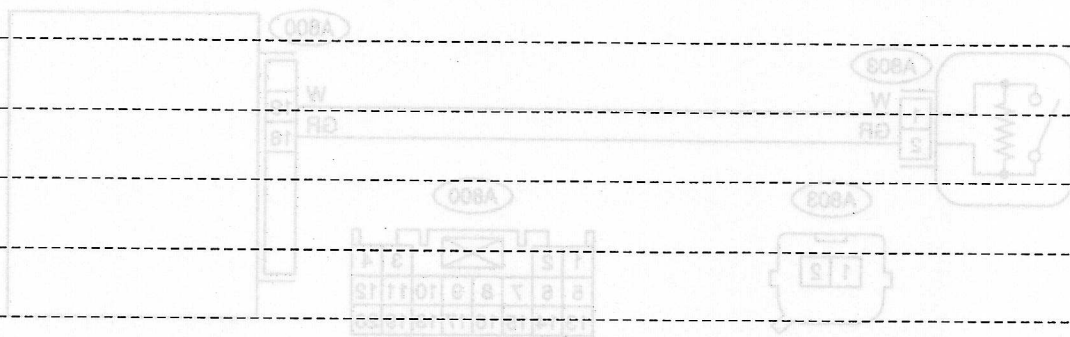
テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ③ ~ テストハーネスFの3Fコネクタ端子 ⑥

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ テストハーネスFの3Fコネクタ端子 ⑤

基準値	10Ω以下
-----	-------

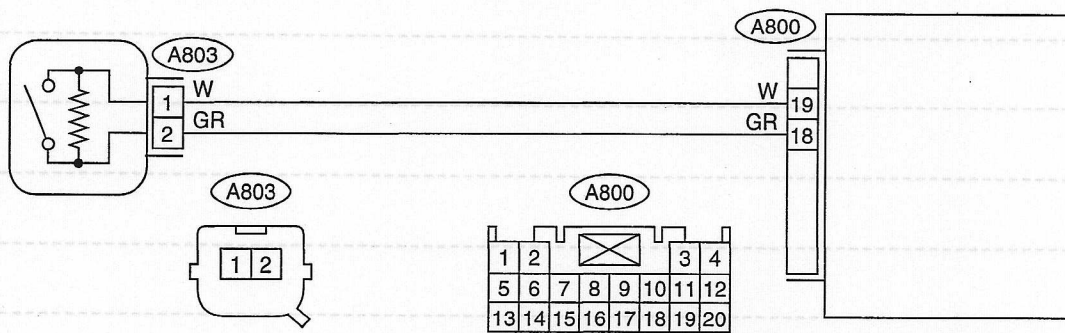
<次ページへ続く>

<前ページの続き> 3. エアバッグメイン ハーネス (LH系) 点検	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子③～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子①～ボディアース <table border="1" data-bbox="483 384 1218 445"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10kΩ以上		
基準値	10kΩ以上				
	<table border="1" data-bbox="397 541 1133 602"> <tr> <td>Ωk1～Ωk2</td><td>基準値</td></tr> </table> 対点検の点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子①～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子③～ボディアース <table border="1" data-bbox="397 783 1133 844"> <tr> <td>Ωk1～Ωk2</td><td>基準値</td></tr> </table>	Ωk1～Ωk2	基準値	Ωk1～Ωk2	基準値
Ωk1～Ωk2	基準値				
Ωk1～Ωk2	基準値				
	<table border="1" data-bbox="397 1108 1133 1169"> <tr> <td>Ωk1～Ωk2</td><td>基準値</td></tr> </table> 対点検の点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子④～ボディアース <table border="1" data-bbox="397 1350 1133 1411"> <tr> <td>Ωk1～Ωk2</td><td>基準値</td></tr> </table>	Ωk1～Ωk2	基準値	Ωk1～Ωk2	基準値
Ωk1～Ωk2	基準値				
Ωk1～Ωk2	基準値				
	<table border="1" data-bbox="397 1833 1133 1894"> <tr> <td>Ωk1～Ωk2</td><td>基準値</td></tr> </table> 対点検の点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子③～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子①～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子②～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター端子④～ボディアース	Ωk1～Ωk2	基準値		
Ωk1～Ωk2	基準値				

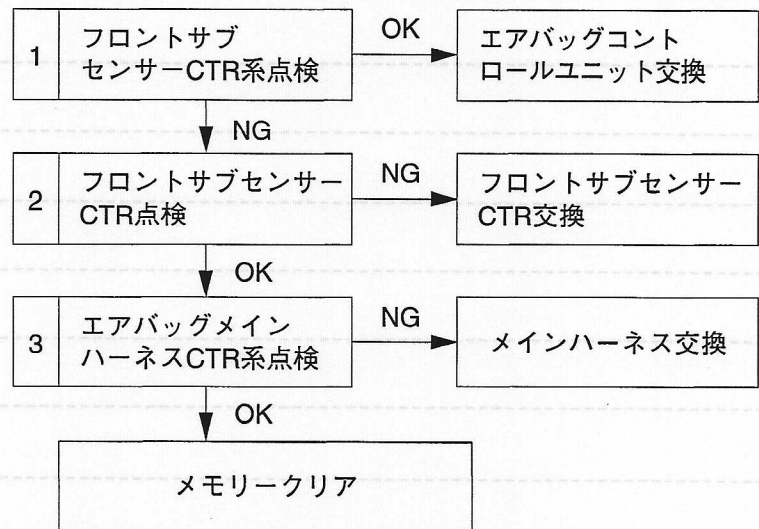


コード33 フロントサブセンサー (CTR) 系統

MEMO



• フローチャートに従い点検する



1. フロントサブセンサー (CTR) 系点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ1Eと接続する。

• フロントサブセンサーセンターとハーネス点検

2. フロントサブセンサーの抵抗測定

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～③

基準値	750Ω～1kΩ
-----	----------

3. ハーネスとボディとの絶縁点検

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～ボディアース

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子③～ボディアース

基準値	10kΩ以上
-----	--------

2. フロントサブセンサー (CTR) 点検

1. テストハーネスHの2Hコネクタをフロントサブセンサーセンターに接続する。

2. フロントサブセンサー (CTR) の抵抗測定

テストハーネスHの3Hコネクタ端子③～④

基準値	750Ω～1kΩ
-----	----------

3. フロントサブセンサー (CTR) とボディとの絶縁点検

テストハーネスHの3Hコネクタ端子③～ボディアース

テストハーネスHの3Hコネクタ端子④～ボディアース

基準値	10kΩ以上
-----	--------

3. エアバッグメインハーネス (CTR系) 点検

1. A803コネクタとA803ボディコネクタにテストハーネスFのコネクタ2Fを接続する。

2. メインハーネスの抵抗測定

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子③～テストハーネスFの3Fコネクタ端子

テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～テストハーネスFの3Fコネクタ端子

基準値	10Ω以下
-----	-------

<次ページへ続く>

<前ページの続き> 3. エアバッグメイン ハーネス (CTR系) 点検	3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子③～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～ボディアース <table border="1" data-bbox="483 386 1218 445"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10kΩ以上
基準値	10kΩ以上		

	<table border="1" data-bbox="396 541 1130 604"> <tr> <td>150Ω～1kΩ</td><td>基準値</td></tr> </table> 3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子③～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～ボディアース <table border="1" data-bbox="396 785 1130 848"> <tr> <td>10kΩ以上</td><td>基準値</td></tr> </table>	150Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上	基準値
150Ω～1kΩ	基準値				
10kΩ以上	基準値				

	<table border="1" data-bbox="396 1100 1130 1163"> <tr> <td>150Ω～1kΩ</td><td>基準値</td></tr> </table> 3. ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子③～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子①～ボディアース <table border="1" data-bbox="396 1344 1130 1407"> <tr> <td>10kΩ以上</td><td>基準値</td></tr> </table>	150Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上	基準値
150Ω～1kΩ	基準値				
10kΩ以上	基準値				

	<table border="1" data-bbox="396 1827 1130 1890"> <tr> <td>10kΩ以上</td><td>基準値</td></tr> </table> 3. エアバッグメイン ハーネス (CTR系) 点検	10kΩ以上	基準値
10kΩ以上	基準値		

MEMO

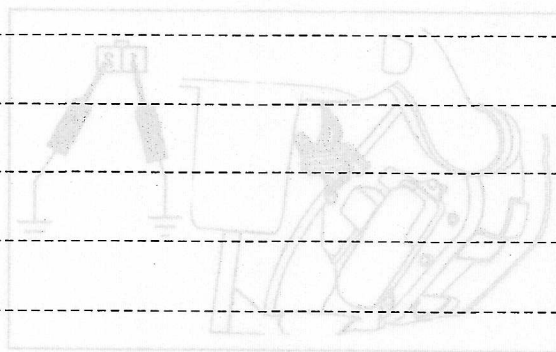
(Vはろづえ所お中主共朝知)。ふりえ所さうーし、ふりさてりやーでち入りふ、取手ゆいし、おれ共朝知

。おひさまがさす光をうけて、

[illegible]

ある大規模な社会主義的計画

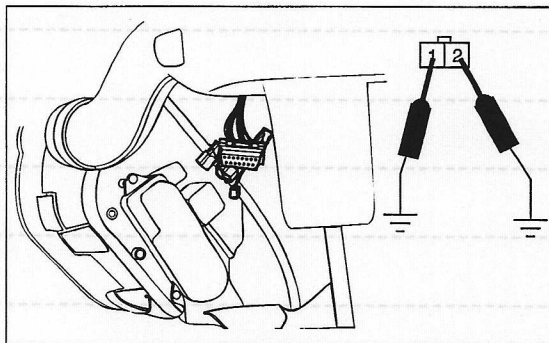
556



5. メモリークリア

故障修理後は、以下の手順によりメモリークリアを行い、コードを消去する。(故障発生中は消去できない)

1. IG SW ON (エンジン停止)
2. ダイアグノーシスコネクターF15の一番ピンとアース端子を接続する。(トラブルコードが表示される)
3. ウォーニングランプが点滅時にもう一つのアース端子を、ダイアグノーシスコネクターF15の2番ピンに接続する。
4. 10秒程度後2番ピンとアース端子を分離する。
5. メモリークリアされるとウォーニングランプの点滅は正常(0.6秒ごとの点滅)になる。
6. 正常の点滅に戻らない場合は、故障箇所が残っているので修理を行い、再度メモリークリアし、正常の点滅に戻っていることを確認する。
7. メモリークリア後は、自己診断コネクターとアース端子をきちんと分離し、アース端子はテープ巻きして元に戻すこと。

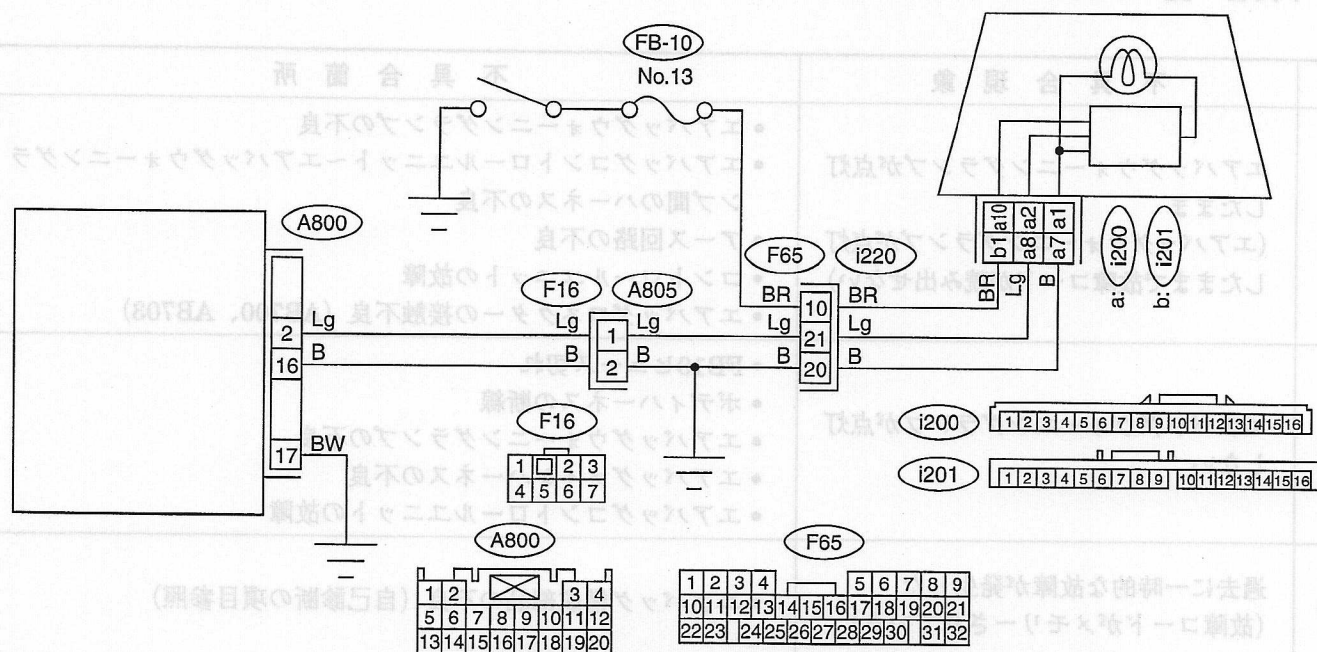


6. 不具合現象に基づく点検

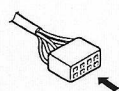
■ 不具合一覧

	不 具 合 現 象	不 具 合 箇 所
1	エアバッグウォーニングランプが点灯したまま (エアバッグウォーニングランプが点灯したままで故障コードが読み出せない)	• エアバッグウォーニングランプの不良 • エアバッグコントロールユニット～エアバッグウォーニングランプ間のハーネスの不良 • アース回路の不良 • コントロールユニットの故障 • エアバッグコネクタの接触不良 (AB700、AB703)
2	エアバッグウォーニングランプが点灯しない	• FB10ヒューズ切れ • ボディハーネスの断線 • エアバッグウォーニングランプの不良 • エアバッグメインハーネスの不良 • エアバッグコントロールユニットの故障
3	過去に一時的な故障が発生した (故障コードがメモリーされている)	• エアバッグ構成部品の不良 (自己診断の項目参照)
4	過去に一時的な故障が発生した (故障コードがメモリーされていない)	• エアバッグコネクタの不良 • FB16ヒューズ切れ • エアバッグメインハーネスの不良 • エアバッグコントロールユニットの故障 • ボディハーネスの不良

1 エアバッグウォーニングランプが点灯したまま

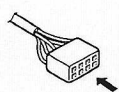


• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



i410

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



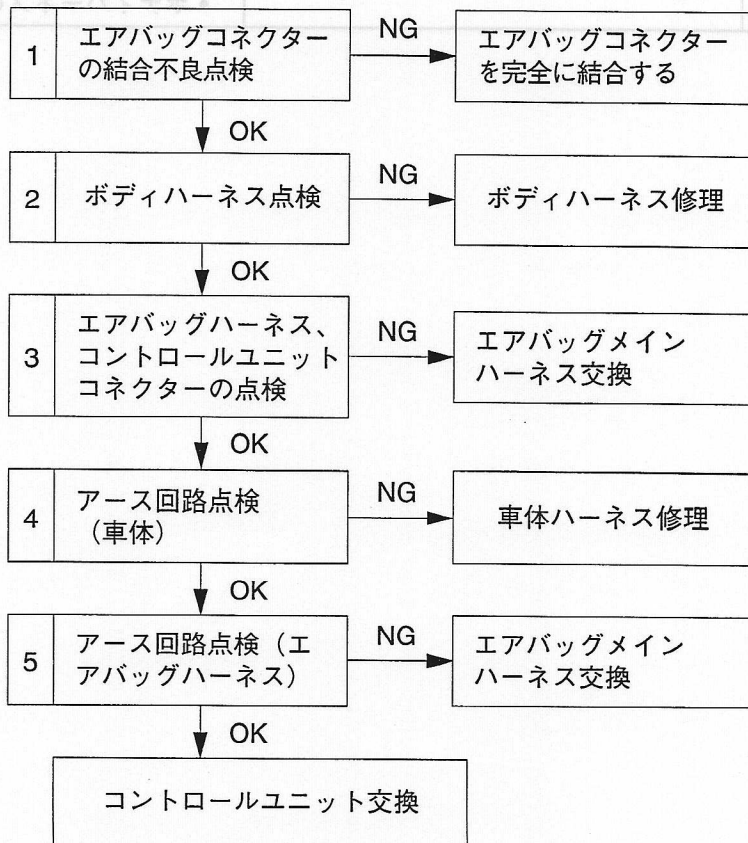
テストハーネス

5A

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18						

2E

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14				



1. エアバッグコネクタの結合不良点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外し20秒以上放置すること。 運転席側のエアバッグコネクタA805とボディハーネス側コネクタF16間のコネクタの接続を点検する。 <table border="1" data-bbox="500 415 1235 506"> <tr> <td>基準値</td><td>コネクタに接触不良がないこと（コネクタ間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと）</td></tr> </table>	基準値	コネクタに接触不良がないこと（コネクタ間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと）		
基準値	コネクタに接触不良がないこと（コネクタ間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと）				
2. ボディハーネス点検	1. IG SW OFFし、ボディハーネスのF16コネクタにテストハーネスAの1Aコネクタを接続する。 2. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。 3. テストハーネスAのコネクタ3Aと4Aを接続し、エアバッグウォーニングランプの消灯を点検する。 <table border="1" data-bbox="500 856 1235 913"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプが消灯すること</td></tr> </table> 4. 消灯しない場合はボディハーネスに不良箇所がないか点検し、ハーネスが正常ならばメーター内のエアバッグ回路を交換する。 注意 故障修理後コネクタ3Aと4Aは分離しておくこと。	基準値	エアバッグウォーニングランプが消灯すること		
基準値	エアバッグウォーニングランプが消灯すること				
3. エアバッグハーネス、コントロールユニットコネクタの点検	1. A800コネクタの結合を確認する。 <table border="1" data-bbox="500 1262 1235 1318"> <tr> <td>基準値</td><td>結合していること</td></tr> </table> 2. 結合していない場合は結合後以下の点検を行う。 3. IG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外し20秒以上経過後、再度エアバッグハーネスコネクタA800とボディハーネスコネクタF16を接続する。 4. インパネロアーカバーを外し。エアバッグコネクタA802を分離する。 5. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。 6. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。 7. テストハーネスE2のコネクタ4Eと5Eを接続し、エアバッグウォーニングランプの消灯を点検する。 <table border="1" data-bbox="500 1745 1235 1801"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプが消灯すること</td></tr> </table> 注意 故障修理後コネクタ4Eと5Eは分離しておくこと。	基準値	結合していること	基準値	エアバッグウォーニングランプが消灯すること
基準値	結合していること				
基準値	エアバッグウォーニングランプが消灯すること				

4. アース回路点検
(車体)

注意 IG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上放置した後、次の作業を行う。

- (1) ボディハーネスコネクタ-F16とエアバッグコネクタ-A805を分離する。
- ボディハーネスコネクタ-F16にテストハーネスAの1Aコネクタを接続する。
- テストハーネスAの5Aコネクタの以下の端子とボディアースの導通を点検する。

5Aコネクタ端子(17)～ボディアース

5Aコネクタ端子(18)～ボディアース

基準値	導通あり (10Ω以下)
-----	--------------

5. アース回路点検 (エアバッグハーネス)

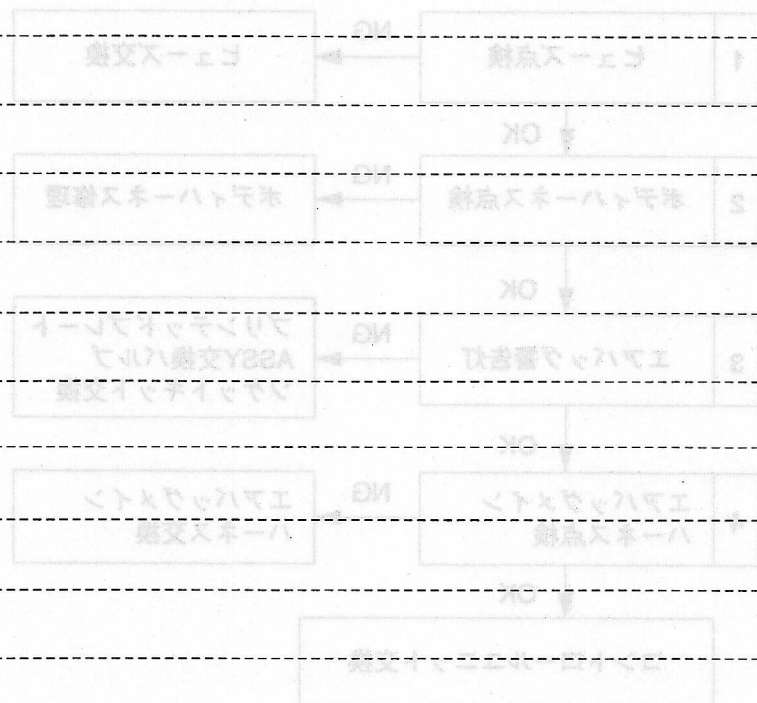
- ボディハーネスコネクタ-F16とエアバッグコネクタ-A805を接続する。
- エアバッグコネクタ-A800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。
- テストハーネスE2の2Eコネクタの以下の端子とボディアースの導通を点検する。

2Eコネクタ端子(9)～ボディアース

2Eコネクタ端子(10)～ボディアース

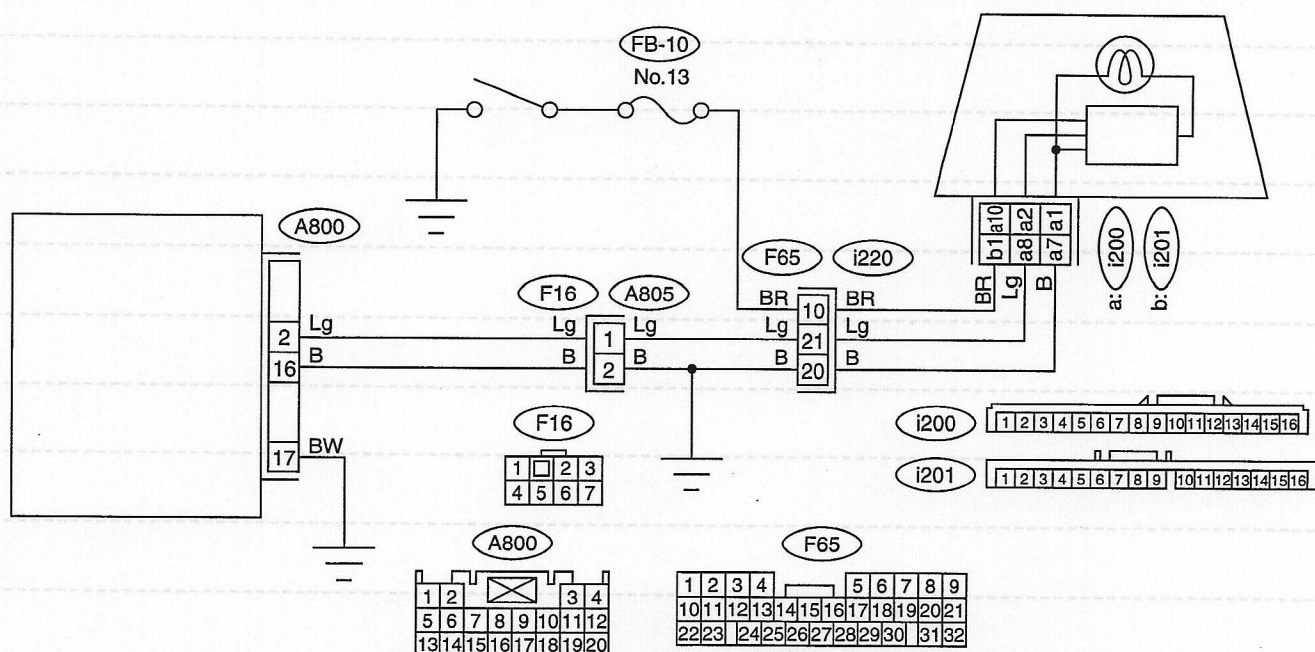
基準値	導通あり (10Ω以下)
-----	--------------

MEMO

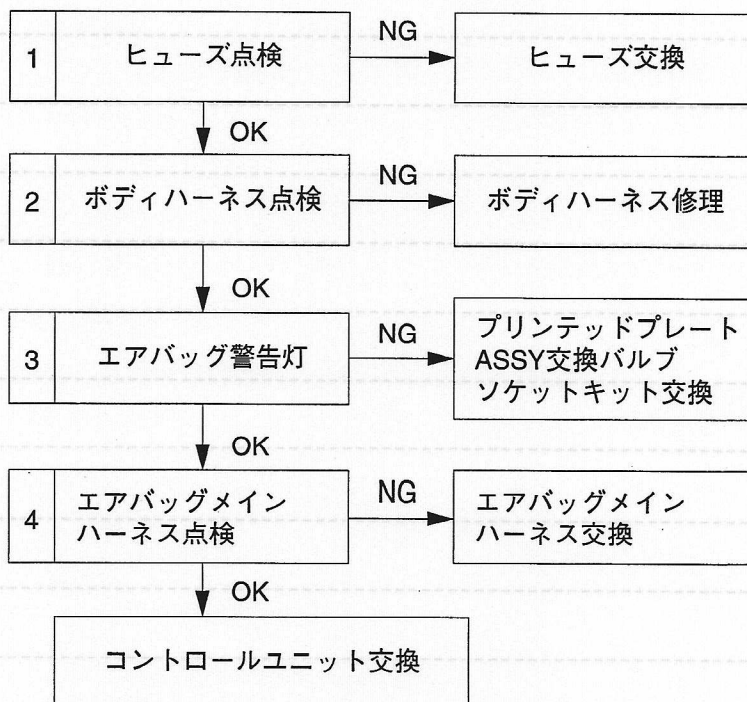


2 エアバッグウォーニングランプが点灯しない

OM2M



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



6-49

3 過去に一時的な故障が発生した（故障コードがメモリーされている）

注意

作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの⊖ケーブルを外して20秒以上放置すること。

• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



(1) 自己診断を行い、故障コードを読み取る。(2) 自己診断の結果に従い不具合箇所を点検する。(3) 不具合箇所の目視点検を行う。

1. エアバッグ構成部品の目視点検

- (1) 自己診断を行い、故障コードを読み取る。
- (2) 自己診断の結果に従い不具合箇所を点検する。
コードによる点検の項目を参照する。
- (3) 不具合箇所の目視点検を行う。

基準値	外観上異常のないこと
-----	------------

注意

構成部品以外でも、コネクタ、端子、ハーネス等に損傷がないか点検しておく。

2. エアバッグ構成部品の振動点検

- (1) 不良と診断した構成部品を静かに振動させる。
- (2) エアバッグモジュールとロールコネクタはステアリングを切って点検する。

基準値	振動させても不具合は発生しない
-----	-----------------

注意

コントロールユニットはゆすったり、振動を与えないこと。

3. 漏水試験

車両に水をかけ、車両の水漏れがないか点検する。

注意

エアバッグの構成部品には直接水をかけないこと。

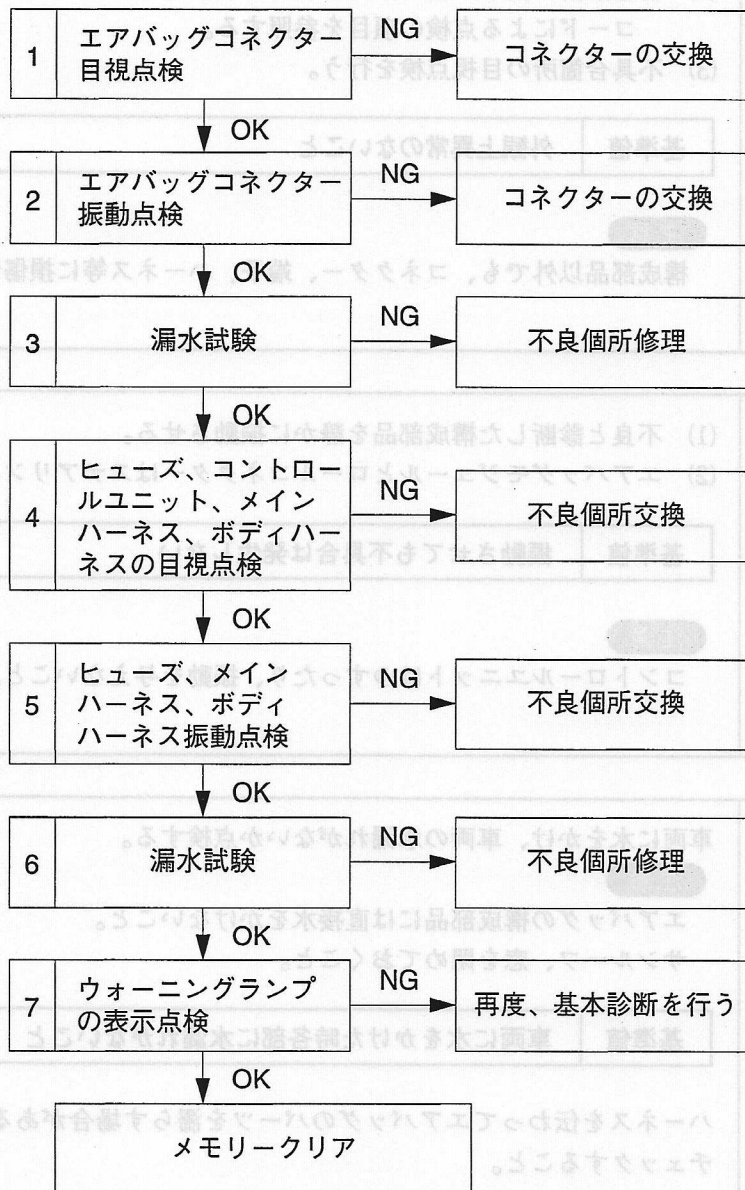
サンルーフ、窓を閉めておくこと。

基準値	車両に水をかけた時各部に水漏れがないこと
-----	----------------------

ハーネスを伝わってエアバッグのパーツを濡らす場合があるので、ハーネスも十分チェックすること。

4 過去に一時的な故障が発生した (故障コードがメモリーされていない)

• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. エアバッグ コネクター目視点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの⊖ケーブルを外して90秒以上放置すること。 エアバッグコネクターA800とA987の接続を点検する。 <table border="1" data-bbox="503 464 1365 558"> <tr> <td>基準値</td><td>コネクターに接触不良がないこと (コネクター間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと)</td></tr> </table> 接続するハーネスの損傷も点検しておく	基準値	コネクターに接触不良がないこと (コネクター間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと)
基準値	コネクターに接触不良がないこと (コネクター間の緊度が十分で損傷、錆などがないこと)		
2. エアバッグ コネクター	静かにエアバッグコネクターA800とA987を振動させる。 <table border="1" data-bbox="503 825 1235 884"> <tr> <td>基準値</td><td>振動させても不具合は発生しない</td></tr> </table>	基準値	振動させても不具合は発生しない
基準値	振動させても不具合は発生しない		
3. 漏水試験	車両に水をかけ、車両の水漏れがないか点検する。 注意 エアバッグの構成部品には直接水をかけないこと。 サンルーフ、窓は閉めて行うこと。 <table border="1" data-bbox="503 1188 1365 1247"> <tr> <td>基準値</td><td>車両に水をかけた時、客室に水漏れがないこと</td></tr> </table> ハーネスを伝わってエアバッグのパーツを濡らす場合があるのでハーネスも十分チェックすること。	基準値	車両に水をかけた時、客室に水漏れがないこと
基準値	車両に水をかけた時、客室に水漏れがないこと		
4. ヒューズ、コントロールユニット、メインハーネス、ボディハーネスの目視点検	IG SW OFFし、ヒューズカバーを外してヒューズの切れ、メインハーネス、ボディハーネスの損傷、溶断等がないか点検する。 <table border="1" data-bbox="503 1591 1235 1650"> <tr> <td>基準値</td><td>損傷、切れなどがないこと</td></tr> </table> コネクター、端子、ハーネス等に損傷がないか点検しておく。	基準値	損傷、切れなどがないこと
基準値	損傷、切れなどがないこと		

5. ヒューズ、メインハーネス	静かにFB16ヒューズ、メインハーネス、ボディハーネスを振動させる。 <table border="1" data-bbox="475 306 1209 363"> <tr> <td>基準値</td><td>振動させても不具合は発生しない</td></tr> </table> 注意 エアバッグコントロールユニットはゆすったり、振動を与えないこと。	基準値	振動させても不具合は発生しない
基準値	振動させても不具合は発生しない		
6. 漏水試験	車両に水をかけ、車両の水漏れがないか点検する。 注意 エアバッグの構成部品には直接水をかけないこと。 <table border="1" data-bbox="475 756 1209 810"> <tr> <td>基準値</td><td>車両に水をかけた時各部に水漏れがないこと</td></tr> </table> ハーネスを伝わってエアバッグのパーツを濡らす場合があるのでハーネスも十分にチェックすること。	基準値	車両に水をかけた時各部に水漏れがないこと
基準値	車両に水をかけた時各部に水漏れがないこと		
7. ウォーニングランプの表示点検	IG SWをONにし、エアバッグウォーニングランプの点灯状態を点検する。 <table border="1" data-bbox="475 1117 1209 1211"> <tr> <td>基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプが6秒程度後に消灯する</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプが6秒程度後に消灯する
基準値	エアバッグウォーニングランプが6秒程度後に消灯する		

㊦ 2,750 - 288

1999 年 2 月 発行 1 版

禁複製・転載

——実費1,800円——

(消費税は含まれておりません)

編集・発行

富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

問い合わせ先：国内営業本部お客様サービスセンター

国内サービス部 教育課



富士重工業株式会社